

会社概要

平成20年11月現在

商号	エムケイ株式会社	
本社所在地	〒601-8432 京都市南区西九条東島町63-1	
創業	昭和35年10月26日	
発行済み株式総数	190,000株	
資本金	9,500万円	
決算期日	3月20日	
事業の目的	<p>(1)道路運送法に依り一般乗用旅客自動車運送事業 (2)一般貸切旅客自動車運送事業 (3)一般乗合旅客自動車運送事業 (4)特定旅客自動車運送事業 (5)無償旅客自動車運送事業 (6)一般貨物自動車運送事業 (7)軽車輛等運送事業 (8)貨物運送取扱事業 (9)自動車損害賠償保障法に基づく保険代理業 (10)損害保険代理業 (11)生命保険の募集に関する業務 (12)介護保険法による訪問介護の居宅サービス事業 (13)介護保険法による訪問入浴介護の居宅サービス事業 (14)介護保険法による福祉用具貸与の居宅サービス事業 (15)介護保険法による居宅介護支援事業 (16)貴金属、宝飾品、時計、皮革製品、美術品、装身具、装飾品、化粧品、家具、日用雑貨、民芸品、スポーツ用品、文具用品、洋品雑貨、酒類、びん詰、缶詰類、香料、嗜好品、衣服、喫煙具、図書、自動車、医療機器、事務機器、電気機器、写真光学機器の割賦購入斡旋、リース業並びにその代行業及び之れに附帯するサービス (17)弁当、惣菜等調理食品の製造販売 (18)ファーストフードの製造、加工及び販売 (19)遊戯場、娯楽場の経営 (20)遊戯場、娯楽器具の販売 (21)遊戯場、娯楽場施設の設計及び施工 (22)飲食店の経営 (23)旅行業 (24)不動産の売買、賃貸、斡旋 (25)駐車場の経営 (26)各種自動車の売買及び総合修理 (27)各種自動車の輸送 (28)新聞、図書等の製作販売 (29)液化石油ガス及び揮発油、灯油、軽油、重油、潤滑油等石油製品の販売 (30)自動車の部品及び付属品並びにタイヤの販売 (31)自動車の運行及びその管理の請負業 (32)古物売買 (33)受付、案内、駐車場管理など建築物と付属設備の維持管理業務要員の派遣 (34)労働者派遣業務 (35)総合警備保障業務 (36)前各号に附帯する事業及び関連する業務の一切</p>	
役員	代表取締役会長	結城 博 (MK石油代表取締役)
	代表取締役社長	青木 信明
	専務取締役	青木 義明 (大阪MK・神戸MK・名古屋MK代表取締役)
	専務取締役	金本 達也 (MK観光バス代表取締役)
	常務取締役	平山 功 (営業本部長)
	取締役	竹内 淳吉 (管理本部長)
	取締役(社外取締役)	有馬 頼底 (京都仏教会理事長)
	監査役	松浦 正弘 (弁護士)
事業所	本社	〒601-8432 京都市南区西九条東島町63-1 TEL 075-555-3132(代)
	伏見営業所	〒612-8412 京都市伏見区竹田中川原町53-1 TEL 075-642-0911
	山科営業所	〒607-8354 京都市山科区西野小柳町7-1 TEL 075-593-2141
	上賀茂営業所	〒603-8036 京都市北区上賀茂西河原町1-1 TEL 075-722-3840
	洛西営業所	〒610-1140 京都市西京区大枝中山町2-17 TEL 075-331-5634
	宇治城陽営業所	〒611-0031 京都府宇治市広野町西裏82-5 TEL 0774-41-2886
	西五条営業所	〒615-0053 京都市右京区西院久保田町6-7 TEL 075-311-3111
	国道十条営業所	〒601-8127 京都市南区上鳥羽北花名町1-1 TEL 075-693-5755
	八幡営業所	〒614-8001 八幡市八幡科手4-16 TEL 075-972-3731
	MK警備	〒601-8127 京都市南区上鳥羽北花名町1-1 TEL 075-694-2190
	MKトラベル	〒601-8127 京都市南区上鳥羽北花名町1-1 TEL 075-662-1700
	MKVIPステーション	〒601-8002 京都市南区東九条上殿田町47-1 TEL 075-662-1139

	MK整備工場	〒601-8127 京都市南区上鳥羽北花名町1-1	TEL 075-681-2453
	オートガスタン্ড十条	〒601-8127 京都市南区上鳥羽北花名町1-1	TEL 075-671-3146
	オートガスタン্ড五条	〒615-0053 京都市右京区西院久保田町6-4	TEL 075-314-7336
	MKボウル上賀茂	〒603-8036 京都市北区上賀茂西河原町1-1	TEL 075-711-4622
	MKボウル山科	〒607-8358 京都市山科区西野榎本町113	TEL 075-501-2171
	パルケ上賀茂	〒603-8036 京都市北区上賀茂西河原町1-1	TEL 075-711-4622
	シエル四条烏丸	〒600-8492 京都市下京区四条通新町東入る月鉾町50	TEL 075-212-3577
	シエル ネット	〒615-0053 京都市右京区西院久保田町6-5	TEL 075-323-0881
	車両保有台数	タクシー 752両 ジャンボタクシー 100両 ハイヤー 25両 合計 877両 (H20.11.21現在)	
従業員数	2,530名 運転者 1,861名 (H20.11.21現在) 職員 333名 (内アルバイト 50名) 警備 152名 アミューズメント 184名 (内アルバイト 130名)		
年間売上高	平成3年度 9,020百万円 平成4年度 9,210百万円 平成5年度 9,265百万円 平成6年度 9,798百万円 平成7年度 10,647百万円 平成8年度 11,164百万円	平成9年度 11,601百万円 平成10年度 11,765百万円 平成11年度 12,156百万円 平成12年度 12,273百万円 平成13年度 11,609百万円 平成14年度 12,814百万円	平成15年度 14,910百万円 平成16年度 15,261百万円 平成17年度 15,846百万円 平成18年度 17,123百万円 平成19年度 18,485百万円
主要取引銀行	三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行 近畿産業信用組合 みずほ銀行		

営業案内

タクシー	小型車初乗り580円、中型590円。他社より10%安い運賃。全車禁煙タクシー。挨拶とドアサービス。お迎え料金無料。遠距離割引(5千円超5割引)・きもの割引(1割引)。LED行灯。全車にGPSシステムを搭載し、迅速確実な配車。1日当たり平均無線回数12,000回 京都駅八条口・祇園に専用乗り場を設置。 コールセンター TEL 075-778-4141
ハイヤー	ワンランク上の車両・乗務員がお客様をエスコート。観光にもご利用できます。 車種:センチュリー、シーマ、フーガ、ゼロクラウン、セドリック、クラウン、エルグランド 外国のお客様のアテンダントには英会話ドライバー。 外商部受注課 TEL075-757-6212
スカイゲイトシャトル	関西空港・伊丹空港～京都市域を結ぶ、乗合制のジャンボタクシー。月間利用者数約3万人。 京都市内から関空片道1人3,500円 伊丹片道1人2,300円 シャトルデスク TEL075-778-5489 その他、神戸～関空(TEL 078-302-0489)
観光タクシー	MK観光ドライバーが京都の旅をプロデュース。完全エスコート案内。 四季に応じたモデルプランも設定。 外商部受注課 TEL075-757-6212
警備業	施設警備・雑踏警備・ビル管理から貴重品輸送までを請負。 TEL075-694-2190
MKトラベル	堀川五条東入。空港送迎無料付のシャトルパックで大手旅行代理店のパック旅行も取扱い。 新幹線格安チケット。航空券発券(ANA)。
MK新聞	月2回(1日・16日)発行8面。京都の情報をお届けする。タクシー車内に車載。
MK整備	ガソリン車・LP車の修理も可能。車検工賃3,900円のサンキュー車検。
オートガス	LPガスタン্ড。西小路五条・上鳥羽の市内に2箇所。
MKボウル	ボウリング場。上賀茂・山科の2箇所
パルケ	アミューズメント施設。上賀茂。
シエル	モダンでシックな新感覚「フード&カラオケ」。四条烏丸
シエル ネット	京都最大クラスの高級コミック&インターネットカフェ。西小路五条

沿革

昭和35年	10月	ミナミタクシー株式会社(資本金1,000万円)を設立し、10両の新規免許を取得
昭和36年	10月	第1次社宅ミナミホームセンター開設
昭和37年		ミナミタクシー増車認可、計25両
昭和38年	12月	桂タクシー株式会社の経営権を譲受し、両社で46両となる。 ミナミタクシー労働組合結成
昭和39年	4月	ミナミタクシー、本社社屋を新築 ミナミタクシー、桂タクシー増車認可、計69両
昭和41年		ミナミタクシー、桂タクシー増車認可、計75両
昭和43年		ミナミタクシー、桂タクシー増車認可、計87両
昭和44年	11月	株式会社駒タクシー(33両)の経営権を譲受 MKシステム導入 ミナミ、桂両タクシー、労働組合合併 ミナミタクシー、桂タクシー増車認可、計101両
昭和45年	2月	MK婦人会結成 MK新聞の前身「MK通信」発刊
昭和45年	5月	「個人タクシー追い越し運動」実施 両社で36両増車、計137両
	7月	交通遺児を万国博に招待
昭和46年	2月	MK団地完成(通勤不要、自宅交替制実施) 「ありがとう運動」実施
昭和46年	7月	MKボウルオープン(山科) 両社で160両となる。
昭和47年	4月	「タクシーを市民にかえす」運動
	5月	深夜ステーション開設(急病・急用・出産に対応) 両社で214両
	7月	「市民の声を聞く運動」展開
	8月	社標をハート型に制定
	10月	「身体障害者優先」確立
昭和48年	4月	第一次「動く情報デパート」実施 身体障害者エキスポランド招待 上賀茂ボウルを買収し、傍系会社とする。 “MK会員制度”発足
	7月	市バス代行開始(北区鷹ヶ峰) 山科・上賀茂営業所開設
	12月	MK無線局開局 「飲酒運転追放運動」実施 両社で278両
昭和49年	5月	三和交通株式会社の経営権を譲受 市バス代行(右京区梅津)
昭和50年	4月	学士ドライバーを採用 増車認可401両 「MK5ヶ年計画」を策定
昭和51年	6月	特定バス免許取得 特定バス運行開始(京都市立東養護学校の送迎バス)
	8月	上賀茂・山科にバイキング食堂開設
	9月	MK高野団地完成
	11月	「MK運賃四つのあいさつ」実施(挨拶ができなければ運賃はいただきません。) 増車認可、423両となる。
昭和52年	3月	ミナミタクシー株式会社と桂タクシー株式会社が合併、エムケイ株式会社(資本金 2,200万円) に社名変更
	11月	エムケイ産業株式会社設立
昭和53年	7月	市バス民営化構想を提案
昭和53年		新交通体系を提案 タクシーによる修学旅行開始
	9月	救急タクシー発足。全社員に日本赤十字救護員資格取得を義務づける。 MK新聞を本格的に発行、市民への配布を開始 増車認可451両となる。
昭和54年	2月	「市民の意見を聞く会」を自主的に開催
	4月	“小型料金の中型車”スタート
昭和55年		「都市交通改革に関する要望書」を提案
	5月	「毎月1日市バスに乗る運動」を展開 都市交通懇話会
	11月	国道十条営業所及び整備工場開設
	12月	主社屋を京都市北区上賀茂西河原町1-1に移転

昭和56年	2月	「着物を着る運動」を行う。(京都の伝統産業支援の為)運賃値上げ反対運動 市民公聴会 運賃値上げ(中型380円→430円、小型370円→420円) 南部昌也社長、友好訪中。各都市交通事情視察
昭和57年	2月 9月	オートガススタンド(上鳥羽)開設 運賃値下げ申請(値上げ前の運賃、中型380円、小型370円で申請) MK不動産・MK信販が業務開始 山科営業所移転
昭和58年	1月 3月 8月 9月	身体障害者割引制度、認可実施 MK貨物業務開始 MKトラベル業務開始 MK無線がAVMシステム導入 ハナエ・モリデザイン“の制服採用 キャッシングサービス“パレット”開設
昭和59年		ニューメディアショップ“ZAZA”開設 乗務員派遣システムスタート
昭和60年	1月 4月	運賃値下げ裁判で勝訴 聴講生制度、英会話タクシーを開始 商事部創設、第4次「動く情報デパート」実施
昭和61年		タクシー大学構想実現へ向け作業着手
昭和62年	8月 10月	資本金を8,000万円に増資 “割引回数券”認可(1日発売) MKITを創設。コンピューター事業を開始
昭和63年	10月	MKIT“ビッグマウス”を開発・発表。
平成元年	1月 6月	運輸省がMKを評価し、値下げ裁判で和解。 タクシーの待合室「ステーションMK」を祇園と大阪に開設。京都市域タクシー運賃 8年ぶりに値上げ(中型470円、小型460円へ)
平成2年	3月 9月 10月 11月	ハイヤー特別車両増車認可3両(1日認可)計454両 京都駅八条口向いにMK貴賓室開設 30周年記念式典 固定給ハイヤー制度発足(4名21日～) 英会話資格認定試験導入
平成3年	5月	全国植樹祭 MK配車登用される。
平成4年	1月 2月 3月 4月 9月	全車両禁煙実施 青木会長 韓国明知大学名誉経営学博士号授与 運賃値上げ(中型470円→520円、小型460円→510円・外税) IQ計画発進 英国留学制度開始(5名)
平成5年	4月 9月 12月	第1期学士ファーストハイヤー入社(15名) 第2回英国留学生派遣(3名) タクシー運賃10%値下げ実施(～H6.3.31)、(中型480円 小型470円・外税) 「規制緩和」で流行語大賞・金賞受賞
平成6年	3月 7月 8月 11月	「企業内個人タクシー」スタート(6名) 第2期学士ファーストハイヤー入社(25名) タクシー運賃10%値下げ実施(～H6.12.31)、(中型470円 小型460円・内税) 第3回英国留学生派遣(3名) 第7回ソフト化大賞受賞
平成7年	2月 4月 6月 7月 9月 10月	阪神・淡路大震災に、救援無償タクシー派遣(23台8日間、延べ200人以上が参加) 第3期学士ファーストハイヤー入社(63名) 青木会長引退、MKグループ新会長に前川靖國就任 全国初の深夜早朝値下げ実施(深夜早朝割増運賃2割増→1割増(～H7.11.30)) 第4回英国留学生派遣(4名) 第1回MKグループ現地特別研修会 「親孝行くらぶ」スタート ハイヤー増車認可2両 計456両
平成8年	4月 8月 12月	第4期ファーストハイヤー入社(39名) 洛西営業所開設 第5回英国留学生派遣(2名) 運賃値上げ

平成9年	3月	東京エムケイ株式会社設立	
	4月	第5期ファーストハイヤー入社(22名) ジャンボタクシー増車認可6両 計462両 ジャンボタクシー増車認可2両 計464両	
	6月	ハイヤー増車認可30両 計494両	
	8月	第6回英国留学生派遣(2名)	
	9月	ジャンボタクシー増車認可12両 計506両 大阪エムケイ株式会社ハイヤー事業免許取得(30両) タクシー運賃値下げ実施 近畿土地タクシー株式会社(58両)の経営権を譲受	
	10月	ジャンボタクシー増車認可2両 計508両 「閑空スカイゲイトシャトル(乗合ジャンボタクシー)」スタート(H9.10.21～) 宇治営業所開設 ハイヤー増車認可50両 計558両	
	11月	京都府公安委員会より警備業認定・警備業務開始	
	12月	東京エムケイ株式会社タクシー事業免許取得(84両・H10.3.9～)	
	平成10年	1月	第23回経済界大賞 異色企業賞受賞
		2月	「定期観光ジャンボハイヤー」免許 ハイヤー運賃値下げ認可 第1回MKタクシーサンクスキャンペーン実施
		3月	ジャンボタクシー増車認可13両 ハイヤー減車認可26両 計545両 近畿土地タクシー株式会社の経営権を譲渡
		4月	第6期ファーストハイヤー入社(22名) 「定期観光ジャンボハイヤー」スタート(H10.4.1～) 一般貨物自動車運送事業の経営許可取得 施設保安警備業務開始
6月		第14回企業広報賞 優秀賞受賞 京都仏教会理事長、有馬頼底氏社外役員として就任	
7月		現金輸送業務開始 第2回MKタクシーサンクスキャンペーン実施	
8月		第7回英国留学生派遣(2名)	
10月		ジャンボタクシー増車認可2両 計547両	
平成11年		1月	協同組合京都タクシー協会が京都府より職業訓練の認定(H11.2.1～) 第3回MKタクシーサンクスキャンペーン実施
		2月	「伊丹スカイゲイトシャトル(乗合ジャンボタクシー)」スタート(H11.2.10～)
	3月	MK新聞500号刊行(平成11年3月16日号) ジャンボタクシー増車認可13両 ハイヤー増車認可2両 計580両	
	4月	第7期ファーストハイヤー入社(25名) ジャンボタクシー減車認可 2両 計578両	
	7月	第4回MKタクシーサンクスキャンペーン実施	
	8月	第8回英国留学生派遣(2名)	
	9月	「京都観光業界の発展を目指して」京都市に提案 MK100円バスを申請	
	12月	ハイヤー増車認可2両 計580両	
	平成12年	1月	第5回MKタクシーサンクスキャンペーン実施
		3月	「MKグループ10万人雇用創造計画書」発表 ジャンボタクシー増車認可10両 計590両
4月		第8期ファーストハイヤー入社(25名) 運行管理事業部名古屋営業所開設	
7月		ジャンボタクシー減車認可4両 計586両 第6回MKタクシーサンクスキャンペーン実施	
8月		第9回英国留学生派遣(2名)	
9月		タクシー譲受認可10両 計596両	
10月		宇治城陽営業所開設、京都南部地域での営業開始	
平成13年		2月	GPS無線自動配車システム導入 第7回MKタクシーサンクスキャンペーン実施
		4月	第9期ファーストハイヤー入社(4名)
		7月	タクシー譲受認可10両 計606両
	8月	名古屋無償タクシー裁判勝訴(第1回目)	
	9月	「京都市の新都市交通体系」発表 第10回英国留学生派遣(2名)	
	10月	名古屋無償タクシー裁判勝訴(第2回目)	
	12月	名古屋無償タクシー実施(H13.12.20～H14.1.31)	

平成14年	2月	改正道路運送法施行	
	3月	観光バス事業開始	
	4月	第10期ファーストハイヤー入社(16名) 神戸ー関空スカイゲイトシャトル運行開始(H14.4.15～)	
	5月	神戸にてタクシー営業開始(H14.5.25～)	
	6月	大阪MKがタクシー営業開始(H14.6.1～)	
	7月	名古屋MK設立(H14.7.1)、初乗500円で営業開始(H14.7.17～)	
	8月	大阪MK、神戸営業所ともに初乗500円に値下げ(H14.8.8～) 京都MKグループ5000円超3割引の遠距離割引開始(H14.8.29～)	
	9月	神戸MK設立(H14.9.10)	
	11月	割引回数券(500円券×21枚綴を10,000円で販売)の販売を開始(H14.11.1～) 代行運転サービスを開始(H14.11.12～)	
	12月	佐川急便株式会社との提携による宅配便取次サービスを開始(H14.12.1～)	
	平成15年	1月	神戸MK、一般貸切旅客自動車運送事業経営許可取得並びにMKより神戸市域におけるタクシー事業の事業譲受認可
		2月	神戸ー伊丹、北摂ー関空、北摂ー伊丹シャトル開始(H15.2.1～)
3月		三和交通株式会社と合併	
4月		第11期学士ファーストハイヤー入社(18名)	
6月		メッセージサービス開始(6/21～)	
7月		きもの割引開始(7/21～)	
8月		株式会社駒タクシーを統合	
9月		英国留学生派遣(2名)	
10月		四条大宮(近畿産業信用組合京都支店前)にMK専用乗り場を開設	
12月		京都市内の循環路線バス事業(一般乗合旅客自動車運送事業)が許可 第1回MKチャリティシニアオープン開催	
平成16年		1月	青木定雄オーナー韓国国民勲章「無窮花章」受勲
		4月	第12期学士ファーストハイヤー入社(15名)
	5月	エムケイ観光バス運輸開始(京都・名古屋)	
	7月	第8回MKグループサンクスキャンペーン実施	
	8月	「京都のバス事業を考える会」が発足	
	12月	英国留学生派遣(2名) 第2回MKチャリティシニアオープン開催	
平成17年	4月	第13期学士ファーストハイヤー入社(13名) 初のフランチャイズ、東京シティエスコート営業開始(H17.4.21～)	
	7月	市バス代替運行モデル実証実験開始(H17.7.23～)	
	9月	英国留学生派遣(3名)	
	10月	小篠ゆまデザインの制服に変更(H17.10.21～) 創業45周年記念キャンペーン(H17.10.25～27)	
平成18年	2月	エムケイ観光バス大阪営業所開設	
	4月	第14期学士ファーストハイヤー入社(7名)	
	7月	第1回MKチャリティカップ開催(H18.7.27～29)	
	8月	エムケイ産業株式会社を吸収合併(H18.8.21) アミューズメント事業部発足	
	9月	MKどこナビ開始(9/1～) 英国留学生派遣(3名)	
	12月	十条立体駐車場完成 第1回MK女子チャリティカップ開催(H18.12.18～20)	
平成19年	2月	第9回MKグループサンクスキャンペーン実施	
	4月	第15期学士ファーストハイヤー入社(6名)	
	8月	神戸MK芦屋営業所開設(H19.8.27)	
	9月	第1回MKチャリティコンサート開催(H19.9.8) 第2回MKチャリティカップ開催(H19.9.13～15)	
	11月	エムケイ株式会社本社移転(H19.11.12) エムケイ観光バス神戸営業所開設(H19.11.22)	
平成20年	1月	GPS無線自動車システムをデジタル化	
	2月	八幡営業所開設(H20.2.1)	
	4月	第15期学士ファーストハイヤー入社(5名) 京都MK5000円超5割引に遠距離割引拡大(H20.4.10～)	
	8月	京都MK空港定額タクシー運行開始(H20.8.21～) 自動応答システム開始(H20.8.21～)	
	9月	東京MK品川営業所から大崎営業所に移転(H20.9.1) エムケイ観光バス新本社に移転(H20.9.1) 第3回MKチャリティカップ開催(H19.9.4～6) 名古屋MKセントレア営業所開設(H20.9.21)	
	10月	神戸MK須磨営業所開設(H.20.10.13)	
	11月	国土交通省に再規制反対署名53万9,008名分提出(H.20.11.11)	

関連会社

東京エムケイ株式会社	
(設立)	平成9年3月27日
(本社)	〒104-0054 東京都中央区勝どき6丁目5-5 TEL 03-5547-5547, FAX 03-5547-5548
(大崎営業所)	〒141-0032 東京都品川区大崎1-19-12 TEL 03-5759-4900, FAX 03-5759-4901
(成田営業所)	〒287-0224 千葉県成田市新田27-1 TEL 0478-73-8573
(役員)	代表取締役 青木 政明 他9名
(台数)	タクシー 183両 ハイヤー 81両 合計 264両
(従業員数)	529名 (運転者 442名 職員 87名) (内アルバイト 42名)
(配車センター)	TEL 03-5547-5551
大阪エムケイ株式会社	
(設立)	平成9年9月30日
(北営業所)	〒531-0076 大阪市北区大淀中5丁目14番36号 TEL 06-6453-5489, FAX 06-6453-5490
(大正営業所)	〒551-0033 大阪市大正区北恩加島1丁目7番6 TEL 06-6554-2310, FAX 06-6554-2356
(役員)	代表取締役 青木 義明 他4名
(台数)	タクシー 122両 ハイヤー 45両 合計 167両
(従業員数)	317名 (運転者 301名 職員 16名) (内アルバイト 1名)
(配車センター)	TEL 06-6452-4441
名古屋エムケイ株式会社	
(設立)	平成14年7月1日
(本社)	〒460-0033 名古屋市北区金田町4丁目1番1号 TEL 052-912-5757, FAX 052-912-8003
(セントレア営業所)	〒479-0837 常滑市新開町三丁目78番 TEL 0569-36-1051, FAX 0569-36-1052
(役員)	代表取締役 青木 義明 他3名
(台数)	タクシー 34両 ジャンボタクシー 3両 合計 37両
(従業員数)	89名 (運転者 82名 職員 7名)
(配車センター)	TEL 052-350-5481
神戸エムケイ株式会社	
(設立)	平成14年9月10日
(本社)	〒650-0045 神戸市中央区港島8丁目11番2 TEL 078-306-5655, FAX 078-303-6003
(芦屋営業所)	〒659-0034 芦屋市陽光町3番33 TEL 0797-32-6780, FAX 0797-32-6766
(須磨営業所)	〒654-0101 神戸市須磨区白川字休閒ヶ谷895番1 TEL 078-747-2008, FAX 078-743-7318
(役員)	代表取締役 青木 義明 他4名
(台数)	タクシー 150両 ジャンボハイヤー 22両 ハイヤー 6両 合計 178両
(従業員数)	448名 (運転者 351名 職員 97名) (内アルバイト 50名)
(配車センター)	TEL 078-303-6001
福岡エムケイ株式会社 (平成20年12月22日営業開始予定)	
(設立)	平成20年7月16日
(本社)	〒810-0071 福岡市中央区那の津三丁目14番16号 TEL 092-713-5588, FAX 092-713-2228
(役員)	代表取締役 青木 義明 他1名
(台数)	タクシー 50両 (予定)
(配車センター)	TEL 092-713-2229
滋賀エムケイ株式会社 (平成21年1月営業開始予定)	
(設立)	平成15年12月5日
(大津営業所)	〒520-0822 大津市秋葉台558番地3
(栗東営業所)	〒520-3045 栗東市高野字三反町195番地1
(役員)	代表取締役 辻 安広 他3名
(台数)	タクシー 40両 (予定)
関空エムケイ株式会社 (平成21年1月営業開始予定)	
(設立)	平成19年12月19日
(本社)	〒598-0047 泉佐野市りんくう往来南3番地7
(役員)	代表取締役 青木 義明
(台数)	タクシー 5両 (予定)

広島エムケイ株式会社 (平成21年3月営業開始予定)	
(設立)	平成20年10月1日
(本社)	〒733-0804 広島市西区山手町20-8
(役員)	代表取締役 荒木 一 他2名
(台数)	タクシー 24両 (予定)
札幌エムケイ株式会社 (平成21年4月営業開始予定)	
(設立)	平成20年10月10日
(本社)	〒003-0011 札幌市白石区中央一条七丁目1番16号
(役員)	代表取締役 平山 功 他2名
(台数)	タクシー 40両 (予定)
エムケイ観光バス株式会社	
(設立)	平成11年6月30日
(本社)	〒601-8127 京都市南区上鳥羽北花名町1番地1 TEL 075-682-4184, FAX 075-681-8580
(上賀茂営業所)	〒603-8036 京都市北区上賀茂西河原町1-1
(大阪営業所)	〒585-0002 大阪府南河内郡河南町一須賀463-1 TEL 0721-90-4184, FAX 0721-93-6911
(神戸営業所)	〒650-0045 神戸市中央区港島8丁目11番2 TEL 078-302-4184, FAX 078-302-4184
(名古屋営業所)	〒480-1211 愛知県瀬戸市上半田川町229 TEL 0561-41-4184, FAX 0561-41-3421
(豊田営業所)	〒470-0348 愛知県豊田市貝津町池浦1番地 TEL 0565-46-7291
(役員)	代表取締役 金本 達也 他2名
(台数)	京都 52両 愛知 20両 大阪 23両 神戸 11両 合計 106両
(従業員数)	464名 (内アルバイト 76名)
(予約)	TEL 075-682-4184
エムケイ石油株式会社	
(設立)	昭和32年4月3日
(所在地)	〒601-8432 京都市南区西九条東島町63番地の1 TEL 075-681-8501, FAX 075-662-3122
(役員)	代表取締役 結城 博 他6名
(店舗・従業員数)	京都市内を中心にサービスステーション18カ所 228名 (職員 131名 アルバイト 97名)
MKグループ計	従業員数 4,605 名

教育について

4月	全員業務集会
5月	全員業務集会
6月	全集研修
7月	全員業務集会
8月	全員業務集会
9月	秋季研修
10月	全員業務集会
11月	全員業務集会
12月	全集研修
1月	全員業務集会
2月	全員業務集会
3月	春季研修

全員業務集会

各営業所2回ずつ開催し、全社員はいずれかに出席。約2時間。
来賓講演、役員講話、事故対策、苦情対策など。
昭和48年より30年以上続き、講演頂いた来賓は2,000名以上。

全集研修

各営業所2回ずつ開催し、全社員はいずれかに出席。約2時間。
ドアサービスの確認、役員講話、事故対策、苦情対策など。

秋季研修・春季研修

約一ヶ月間に渡り、毎日午前・午後の2回の半日研修。
小型研修と中型研修に分けて開催。全社員参加(毎回50人程度)
ドアサービスの確認、役員講話、事故対策、苦情対策、GPS対策など。

入社3ヶ月目研修

入社3ヶ月経過した新入社員が1日かけて参加する。年間4回開催。
ドアサービスの確認、役員講話、事故対策、苦情対策、GPS対策など。

MK新人研修について

MKタクシーは京都で46年間タクシー事業を行い、おかげさまで市民の皆さまより評価頂いています。それは、MKの経営理念である「お客様第一主義」と「タクシーの社会的地位向上」の実践にあります。お客様に親切しサービス良くすれば、お客様はMKを選んでお乗り頂けるようになります。選ばれば、それだけ売上が上がり、運転手も安定した生活ができ、サービスの質もより向上します。この好循環がMKタクシーの「お客様第一主義」の理由です。

同じお客様の命を預かる商売として、なぜ飛行機のパイロットは尊敬され、タクシー運転手はそうでないか。答えは、教育にあります。従来タクシー事業者は乗務員教育をおろそかにしていました。

MKは、教育の重要性に早くから気付き、これに取り組みました。(前述の好循環への第一歩)

市民からタクシーは生活になくってはならないものとして、もっと認知いただき、

安心してタクシーにお乗り頂けるものにしなくては、タクシー産業全体が衰退するでしょう。

そのための教育であり、「タクシーの社会的地位向上」なのです。

乗務員一人ひとりが、MKの乗務員としての「誇り」をもって仕事をする、

新人研修では、言葉遣いや挨拶、サービスマナーに加えて、そのような精神を身につけてもらいます。

1. 挨拶

MKの基本はあいさつです。新人教習では挨拶や社是を大きな声で唱和することから始まります。

我等の信念(社是)

- ①我らは労働が最高にして神聖であることを信ずる
- ②我らは会社とともにあることを信ずる
- ③我らの責務はお客様に対するものであることを信ずる
- ④我らは社会に奉仕しなくてはならない
- ⑤我らは健全な利益をあげなくてはならない
- ⑥我らは学習に心がけ人格の完成に努めなければならない

MK5つの基本

- ①安全運行に努めること
- ②笑顔でハキハキと挨拶をすること
- ③言葉遣いは丁寧にすること
- ④身だしなみを清潔にすること
- ⑤車両美化に努めること

安全運転3原則

- ①交通ルールの遵守
- ②多段発進
- ③表示確認・右左折確認

接客マナー3原則

- ①笑顔の出会い
- ②全てに気配り
- ③双方感謝

新入社員の挨拶

「お客様、恐れ入りますがお名前を頂戴できますでしょうか」
「はい、〇〇様でございますね、お待たせいたしました。MKでございます。ありがとうございます」
「お足元はよろしいでしょうか」
「ありがとうございます。MKの〇〇でございますが、どちらまででしょうか」
「はい、〇〇でございますね、かしこまりました」
「私、新入社員でございます。運転には自信ございますが、
地理不案内な点がございますので、近道などがございましたら、お早めにお知らせ下さいませ」
「ご指定の道はございますでしょうか」
「はい、〇〇通りでございますね、かしこまりました」
「お客様、シートベルトの着用にご協力をお願いいたします。」
「お客様、車内の温度は如何でしょうか」
「はい、かしこまりました」
「まもなく〇〇でございますが、どちらにお着けいたしましょうか」
「はい、〇〇でございますね、かしこまりました」
「ありがとうございました。料金は580円でございます」
「ただいまドアをお開けいたしますので、しばらくお待ち下さいませ」
「お忘れ物はございませんでしょうか。ありがとうございます」
「お客様、エスコートサービスはいかがでございますか」
「はい、かしこまりました」

2. サービスマナー

タクシー営業に必要なMKのサービスマナーを覚えることも教習の大切な内容です。

ドアサービス

MKタクシーでは中型タクシーは自動ドアをつけていません。お客様がお乗り降りするため乗務員が外に回って、ドアをお開けいたします。

小型タクシーも無線配車でお迎えにあがった際はドアサービスを行います。

エスコートサービス

深夜の女性のお客様などがご自宅に入られるまで確認したり、希望があれば玄関までお供する安全エスコート

お荷物があればお運びするお荷物エスコート

身体の不自由な方の乗り降りをお手伝いする介添えエスコート

車椅子の取扱い方

車椅子の方が安心してタクシーに乗り降りできるため、取扱い方を実習します

言葉遣い

丁寧な言葉遣いを指導します

洗車教習

車内がきれいなこともサービスのひとつです。車両のきれいな洗い方を教えます。

MKのタクシー改革

昭和35年 ミナミタクシー設立	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミナミタクシー株式会社を設立し(資本金1,000万円)、10台の新規免許を取得。 ・ のち昭和38年、桂タクシー株式会社の経営権を譲受する。エムケイの由来は、ミナミのM、桂のK、両者の頭文字をとってつけられた。 ・ 昭和52年に両社が合併し、エムケイ株式会社となる。
昭和45年 MK団地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和36年からミナミホームセンター(乗務員用の社宅)を設立するなど、乗務員の居住環境整備により欠勤や事故を大幅に削減し、サービスの向上を図ってきた。 ・ 当時のマイホーム志向につれ昭和45年、建売住宅46戸を一括購入し、MK団地として会社が補助し、家賃並みの月々の返済で、マイホーム購入ができた。 ・ 以後乗務員の持ち家率は急速に伸び、昭和56年には全国平均を上回った。
ありがとう運動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当時、優良運転者で、かつベテランでなければ免許がおりなかった個人タクシーの方が安心して乗車できるという利用者の声が多く、サービス面や安全運転といった点で、MKはまだまだ改善の余地があった。 ・ その個人タクシーに負けないサービスを創るために「MKはサービスで個人を追い越そう」のスローガンを大きな声で復唱していた。 ・ それが派生して生まれたのが「ありがとう運動」であり、お客様への「ありがとうございます」とともに、社内での挨拶も「ありがとうございます」に統一され今日に至る。
昭和47年 タクシーを市民に返す運動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗車拒否など、利用者の視点を無視したタクシーの状況を改革すべく展開したのが「タクシーを市民に返す運動」である。 ・ 「安全でサービスのよいタクシー」「いつでもどこでも乗れる輸送力の確保、乗車拒否は絶対しない」「身体障害者を優先」「深夜の急病出産などに対応する緊急配車」といった4つのスローガンを掲げ、今日のMKの思想を決定付けた。
身障者優先乗車	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体障害者にとって唯一の交通機関がタクシーという視点に立ち、身障者優先乗車運動を開始した。車体の後部左ドアに身障者優先のステッカーを貼り付け、周囲の評価も高まっていった ・ 当時の国鉄をはじめ公共交通機関が「優先座席」などを定める前の、全国初の試みであった。 ・ 昭和57年には、身障者に対し運賃10%割引を申請し58年認可、以後全国のタクシー会社へ普及していった。
昭和48年 動く情報デパート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「タクシー運賃以外の収入」をめざしてスタートしたのが、「動くデパート、セールス情報システム」である。 ・ 乗務員が営業中に乗客から”売りたい””買いたい”ものの情報を聞いて会社に報告すれば、後は会社がディーラーなどに紹介し、商談が成立すればマージンが一定の割合でその乗務員の収入になるというものであった。 ・ 昭和60年には車の中に商品数1万点のカatalogを常備し、八ヶ月間で1億2千万円分の商談が成立し、800万円の利益を得た。
昭和49年 都市交通改革	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通事業者として京都市の交通体系改革に深い関心を持ち、より便利で快適な都市交通の形成と、市交通局の慢性的赤字体質の改善のため次々と改革案を提言。 <昭和49年「新しいタクシー」> <昭和53年「市バスの民営移管に関する要望書」> <昭和55年「都市交通改革に関する要望書」> ・ 交通への関心の高まりのなかから、市民や有識者による「京都の都市交通懇話会」が生まれ、各方面から賛同者が集まった。
昭和51年 MK運賃四つの挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・ タクシーの運賃には一定のサービス料が含まれているとの考えから、「挨拶を実行しなければ運賃は頂けません」と車内に掲示。以下の4つの挨拶を励行していった。 <「ありがとうございます」とあいさつをします> <「MKの〇〇です」と社員名を明らかにします> <「どちらまでですか」「〇〇までですね」と行き先を確認します> <「ありがとうございました、お忘れ物はございませんか」とお礼を云います> ・ サービスの飛躍的向上のためには、乗客に乗務員を教育してもらうことが必要だという考えのあらわれであった。
昭和52年 救急タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転免許取得に救急講習が必須という西ドイツの事例に習って、乗務員が救急員の資格をとり急病負傷時にすぐに対応できるタクシーにしようという試みである。 ・ 日本赤十字社の救急員資格は20時間以上の講習を受け、試験に合格したものであったが、約1年をかけて全社員が救急員の資格を取得した。 ・ 大きな関心呼び、朝日新聞や読売新聞などマスコミで大きく取り上げられる。
昭和57年 ハナエ・モリデザインの制服	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本のトップデザイナー森英恵さんに制服のデザインを依頼、夏・冬と2パターンの制服が登場した。 ・ これに合わせて、車の塗装もすべて黒塗りへと変更した。

昭和58年 タクシー修学旅行	<ul style="list-style-type: none"> タクシーによる修学旅行。年々増え、現在は毎年約400校の受注がある。
昭和60年 運賃値下げ裁判勝訴	<ul style="list-style-type: none"> 二年おきにタクシー運賃は値上げ。昭和56年の値上げ実施以降、急激に減少する利用者数を回復するために、昭和57年、値上げ前の運賃に戻す申請を提出した。 ところが翌58年には、「労働条件やサービスの悪化につながる」「同一地域同一運賃の原則に反する不当な競争を生み出す」といった理由のために却下された。 この処分を不当としてすぐに取消の行政訴訟を起こした。同一地域同一運賃の原則が適法かという点に焦点が集まったが、昭和60年1月、大阪地裁の「同一地域同一運賃の原則に従うと値上げの必要としない会社まで認可することになり消費者の利益を無視した一種のカルテルである、MKの値下げを認めても利用者に混乱は起きない」といった判決によりMKの全面勝訴となった。 平成元年に運輸省と和解。和解条項に「国はMKの果たしてきた役割を評価する」。 平成5年、細川内閣の規制緩和第一号として運賃値下げ実施。
平成2年 MK貴賓室	<ul style="list-style-type: none"> 京都駅八条口前に、お客様待合用のMK貴賓室が開設。京都観光の拠点、MK専用乗り場に。
平成3年 植樹祭での送迎	<ul style="list-style-type: none"> 天皇皇后両陛下の臨席する全国植樹祭において、民間タクシー会社で初めてMKが約200台のVIPのお供車となる。京都府警と1年に渡る準備の末、大過なく役目を果たす。
平成4年 英会話ドライバー	<ul style="list-style-type: none"> 国際観光都市である京都にこられるお客様のために平成2年から英会話認定試験を導入し、英会話ドライバーが誕生した。 平成4年から英国留学生制度を導入し、毎年審査に通過した数名が約1ヶ月間のイギリス語学研修に派遣される。
全車禁煙	<ul style="list-style-type: none"> 全車禁煙を導入。
平成5年 運賃値下げ実施	<ul style="list-style-type: none"> タクシー運賃の10%の値下げを、平成5,6年と実施、平成9年には本格的に10%値下げを導入した。平成7年には全国初の深夜早朝割引を実施した。
平成8年 西部・南部方面への拡大	<ul style="list-style-type: none"> 平成8年に洛西営業所開設、平成9年に宇治営業所開設し、京都市の新興開発地の西部や京都府南部方面へ進出する。宇治営業所は平成12年に宇治城陽営業所として拡大し本格的に営業開始。
平成9年 スカイゲイトシャトル	<ul style="list-style-type: none"> 新しい空港アクセスとして、ジャンボタクシー（9人乗り）の乗合で輸送するスカイゲイトシャトルの運行がスタートした。平成9年には関西空港と、平成11年には伊丹空港と京都の間で運行が始まっている。 大きな荷物運び等も不要でお客様から大変好評を得ている。平成13年東京一成田空港間、平成14年神戸ー関西空港間の運行も開始。
東京MK・大阪MK	<ul style="list-style-type: none"> 規制緩和の流れから東京MKと大阪MKが誕生。MKの全国展開の先駆けとなる。
平成11年 職業訓練校	<ul style="list-style-type: none"> 協同組合京都タクシー協会が京都府より職業訓練校の認定を受ける。
平成12年 10万人雇用計画	<ul style="list-style-type: none"> 完全失業率が高まる中、雇用対策と来るべきタクシー自由化に向けて発表した「MKグループ10万人雇用創造計画」。 新しい都市交通ネットワーク形成と、全国展開により新規雇用の創出が目的。
平成13年 新都市交通体系	<ul style="list-style-type: none"> MKがこれまで発表してきた、都市交通改革案の集大成。二酸化炭素排出量など環境問題の緩和、複雑なバス体系の整備、バス・タクシーの連携により、安くて便利で快適な都市交通体系の完成を目指す。
エスコートサービス	<ul style="list-style-type: none"> 深夜の女性のお客様などがご自宅に入られるまで見届けたり、希望があれば玄関までお供することや、お荷物を持たれるお客様のお荷物をお運びする、お身体の不自由な方の乗降のお手伝いをするなどのサービス。
名古屋無料タクシー	<ul style="list-style-type: none"> 規制緩和後の名古屋地域進出に先立ち、約40日間の無料のタクシーを名古屋市内で運行。
GPS自動無線配車システム	<ul style="list-style-type: none"> 最もお客様に近い車両に自動で配車される新しいシステム。お迎え時間の短縮と配車効率が飛躍的に高まり、導入前1日平均4,500回から導入後約8,500回平均に。平成14年12月には単日で10,000回を超え、現在1日平均11,000回。
平成14年 大阪MK・名古屋MK・神戸MK	<ul style="list-style-type: none"> 改正道路運送法施行によるタクシー自由化。名古屋MK株式会社設立、7月より営業開始。大阪MK、神戸MKも8月より初乗り500円、加算50円の運賃が認可。各地で最も安いタクシー。
LED行灯	<ul style="list-style-type: none"> MKの行灯（屋上灯）を一新。大きなハートの形と、昼も夜も光って見やすいLEDによる視認効果の向上が高まる。
平成15年 全日空と提携 きもの割引	<ul style="list-style-type: none"> 全日空の「あいのりタクシー」サービスにMKが業務提携。スカイゲイトシャトルが新規に神戸ー伊丹、北摂ー関空、北摂ー伊丹の3路線開始される。 京都の和装振興のため、和装の方を1割引きする。全国初。
平成17年 市バス代替実験	<ul style="list-style-type: none"> 京都市と連携し、市バス赤字路線の運行モデル実験を行う。ジャンボタクシーを使用することで、利便性向上とコスト削減の実現を試みる。
平成18年 MKどこナビ	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話からお客様の最も近くを走る空車タクシーを検索、タクシーに直接電話をかけて配車を行う新サービス。